雫石郷土芸能伝承活動 細川会 会長

細川チエさん

疎開で御明神に訪れていた日本舞踊の先生から、踊りを教わりました。歌に触れる機会が多かったチエさんは民謡を始め、作詞・作曲・編曲・踊り全てを行っており、今まで教えた人数は、1987人ほどです。

民謡の全国大会では「岩手のかっちゃん」と呼ばれ皆から慕われています。

食の匠 銀ザケ養殖の夫婦

滝沢清・昭子さん

養殖所にて、約55万匹の銀ザケを育てている清さん。魚の中間飼育を行なっています。水質に詳しい清さんは、御明神はとても水が綺麗だと語ります。その水で銀ザケを育て、県外へと出荷しています。食の匠である奥様昭子さんと一緒に、銀ザケの加工商品や地元のお米を使ったポン菓子の販売に力を入れ地域の農産物の振興に尽力しています。

マップ 22

葉菜 café・食の匠

黒沢 一子さん

岩手県食の匠に認定されている一子さん。田んぼだった土地で、平成24年に葉菜 café を娘さんと一緒に始めました。

御明神で取れた自家栽培のお米を使用した食事を提供しています。

美味しい食事と綺麗なロケーション。そんなカフェには県外からのお客様も多数訪れます。「四季折々の自然の魅力と友達が御明神の宝」だとおっしゃいます。

マップ 6

雫石そば産業社長

小志戸前 和夫さん

「雫石と言えばそばが美味しい」と言われるほどになるきっかけを作りました。約20年前に橋場地区活性化協議会として、御明神地区の休耕田でそばを育て、今ではそばの栽培加工販売までを一貫しておこなっており、町内外に販売出荷しています。道の駅にある「そば処しずく庵」では〝そば打ち教室〟も行っています。

マップ 17

上和野馬頭観世音 代表

岩持斗季子さん

宗教法人上和野馬頭観世音の代表役員。平成28年8月に国の『登録有形文化財』に指定された上和野馬頭観世音の維持と管理を行っています。

「馬と共に暮らしてきた地域の歴史と文化を示す貴重な建造物を地域の象徴として後世に正しく伝えるために精進いたします。」と語ります。

ラベンダーポプリ

沼尻洋一・まささん

乾燥ラベンダーの香り袋やアロマ水を作っている沼尻さん。香り袋は娘さんのアイディアだったそうです。お花を育てるところから一貫して行っており、「自然が豊かな御明神、寒さは厳しいけれど、川も山もある豊かな自然の中で体を動かして農業ができることが幸せ」と笑顔で語ります。

マップ 21

小田中食堂

小田中 光子さん

地域に愛される小田中食堂を昭和43年から開業しています。こどもと一緒に過ごす時間を大切にするために、食堂を始めました。

それから50年、地域の様々な人が光子さんの人柄と楽しいおしゃべり、昔ながらの美味しいラーメンに惹かれ食堂を訪れています。

「御明神の温かい人々が大好き」と笑顔でおっしゃいます。

おりつめ木工

和山 忠吉さん

地域の木材を使用して、ユーモアのある木工作品を作っています。「地元の木を地元で使う、環境に合わせた作品作りが、作品を長持ちさせる」とおっしゃいます。

和山さんの人柄と作品はどこか遊び心があり、日常に温かさと優しさを加えています。

若き酪農家

伊藤 翔さん

北海道の農業高校への進学を機に、酪農について勉強を始めた伊藤さん。酪農の知識を地元で発揮し、若い酪農仲間と一緒に助け合いながら頑張っています。将来的には、「女性や若者たちも酪農の仕事を通して活躍できる仕組みを作りたい」と考えています。「御明神の好きなところは、人が温かく、協力的なところ」若き酪農家の挑戦は続きます。

QR を読み込むと動画インタビューをご覧いただけます

御明神のパンフレットや雫石4地区で発行した MAP を一緒に収納できます！

DEEP 西山マップ

雫石産直マップ

御所マップ

編集後記

マップを手に NEW 発見しましょう。（勇）

御明神ラブ（あ）

や～よしできた（チ）

脚下照顧 温故知新 報恩感謝（祐）

御明神のことがまるわかりです！（悠）

ステキなマップになった♪（S）

マップから始まる物語（N）

最高の MAP が出来た！（七）

発行年月日：平成 30 年 2 月　発行：御明神地区地域づくり会議マップ製作チーム　協力：雫石町　題字：三輪 大　デザイン：NPO 法人いわて地域づくり支援センター